

## 第33期事業報告書

(令和2年3月31日)

昨年4月に平成天皇が退位され、31年続いた平成は5月1日から令和元年となりました。秋には消費税が8%から10%に改定されました。

当期における当社の経営状況は、

旅客の輸送量は前年比で上半期が115%、下半期が108%通年で112%、自動車輸送量は上半期が112%、下半期が101%通年で106%の利用率になりました。

昨期は西日本豪雨災害の影響を受けていましたが、今期は利用状況が回復しました。

運航収入につきましては71,545千円となり、前期比5,048千円の増収になりました。経費につきましては、4月に新造船を投入したことにより船舶修繕費等が減少しましたが、新造船の減価償却費が発生しましたので海上運送原価は前年比32,504千円の増加となりました。

当期は、40,165千円の助成金を頂いておりましたので当期純損益は△4,206千円となりました。

当社はフェリー1隻での運航になっておりますが、本航路は地域の方々にとりまして必要不可欠な生活福祉航路でありますので、安全運航を徹底し、その運営に最大限の努力を傾注いたします。

又、本航路の運営維持を図るために、関係市町のご支援無くしては不可能であります、何卒格別のご理解を頂きますよう偏にお願い申し上げます。